

# 広報 なかさと

毎月10日発行  
3/10  
1988  
《No.380》

## おばあちゃん されいだね 春をつげる花ばな



**おまな内容**

- 2~4ページ 出稼ご報告
- 5ページ 通信を寄る
- 6ページ 商店街の活性化に向けて
- 7ページ 豊後加工新協会の
- 8~9ページ 春あしせ
- 10~11ページ みんなの広場
- 12ページ 行事予定表 お忘れなく

**私たちの村の**  
( )内は前月比

□人口 男 3,414 (-2)  
女 3,405 (±0)  
計 6,819 (-2)

□世帯数 1,628 (-2)

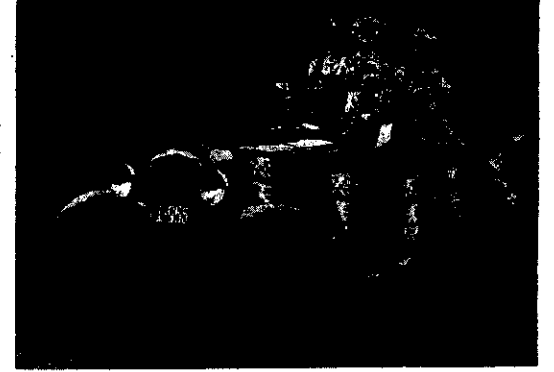
### 行事予定表

3月11日~4月10日

11(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 藤田義一
●(日)	休日救急区(津南病院 ☎65-3161)
14(月)	中里中学校卒業式
16(水)	高齢者講座(P9参照)
17(木)	母親学級、妊婦検診(右参照)
18(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 根津 敬
●(日)	村居スキーツアー(P9参照) 休日救急区(富田医院 ☎52-3269)
●(月)	振替休日 休日救急区(大島医院 ☎52-2957)
22(火)	献血(右参照) 精神衛生相談(右参照)
25(金)	村内小学校卒業式 心配ごと行政相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 藤田義一、山田正平
●(日)	田沢地区婦人会総会(P9参照) 休日救急区(中条病院 ☎57-3018)
4/1(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 樋口永蔵
●(日)	休日救急区(上村病院 ☎63-2111) 新産市スポーツ少年団来村(♀~♀)
4(月)	ツベルクリン反応及びBCG、胃ガン検診(右参照) 交通事故移動相談所(十日町役所 10:00~15:00)
5(火)	
6(水)	高齢者講座運営委員会 春の全国交通安全運動
7(木)	
8(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 藤田義一
●(日)	交通安全家庭の日 休日救急区(津南病院 ☎65-3161)

★古い家を壊すときは連絡してください。民具を集めています。公民館 (☎六三二二四九三)

\*変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。



### 思い出の一枚

上山 樋口 清治さん  
昭和三年、二十二歳のとき東京銀座で円タク(現在のタクシー)の運転手になりました。昭和六年五月に中里村に帰ってきて、現在の山喜さんを借りて円タクを始めました。このフォードが村内で初めての車でした。この写真は、昭和八年ころ田沢劇場に来た踊り子の一座を乗せて宣伝しているところです。当時は、国鉄宮中えん堤工事で田沢中心街は活況を呈し、料亭がたくさんありました。上越線開通博覧会にはお客を乗せて二十回以上も行きました。戦争のため昭和十五年十月に廃業しましたが、この間、一度も事故を起こさなかったことがわたしの自慢の一つです。

### みなさん お忘れなく



- 妊婦検診  
3月17日/上村病院/13:30~14:00
- 母親学級  
3月17日/上村病院/12:45~13:00/家族計画
- ツベルクリン反応及びBCG(S62.1.1~12.31生)  
4月4日 保健センター/14:00~15:00/田沢、清津峡地区  
4月6日  
4月5日 保健センター/14:00~15:00/高道山、倉俣、貝野地区  
4月7日
- 胃ガン検診  
4月4日 }  
5日 } 保健センター/8:00~11:00/田沢地区  
6日 }  
7日 }
- 献血  
3月22日/保健センター/10:00~15:00
- 精神衛生相談  
3月22日/老人福祉センター/14:00~

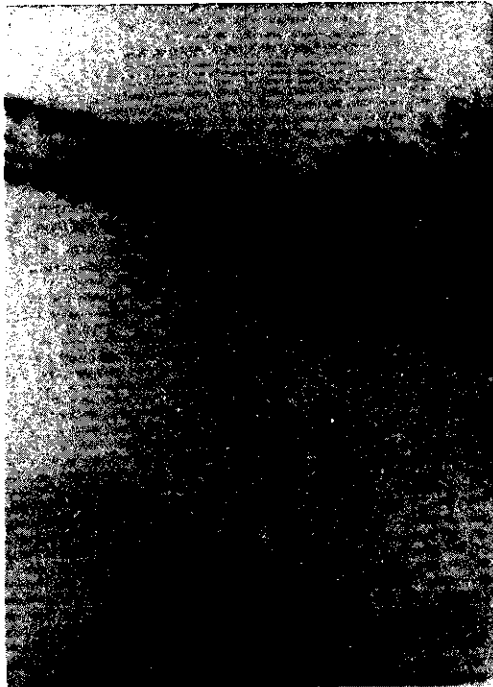
### 編集後記

国道拡幅のチャンスを生かし魅力ある商店街づくりのため、村内の事業者が立ち上りました。古くから、商店街は「まちの顔」といわれています。商店街の活性化なくして村の活性化はないといっても過言ではありません。店もない喫茶店もない村には若者は住めないのですから。

目先の利益ばかりに目を奪われると魅力のない「街の顔」ができてしまいます。ドライブに「アッ」と言わせる街並みを作りたいものです。

### 今月の表紙

三月に入り吹く風の中にもどことなく春を感じます。花屋さんの前には、一足早く春が訪れています。おばあちゃんとお孫さんの間にもやさしく、あたたかい春が感じられます。  
(花幸さん前にて)



カヤぶきの産根は雪ほりが大変

## 出稼ぎを考える

昭和四十四年から急激に増えた出稼ぎも昭和四十四年をピークに減少してきています。交通・通信網が発達した現在では出稼ぎに対するイメージも随分変わってきました。しかし、時代は変わっても一家の大黒柱であるお父さんたちが、半年も離れて暮らすことは、様々な面に影響を与えています。今回は、こうした様々な面にスポットを当て、出稼ぎについて考えてみたいと思います。

# 半年間の空白はまだ埋められず

### 金カネ……の時代

昭和三十年代前半までは今と違ってわずかな現金で暮らしました。しかし、高度経済成長とともに、わたしたちの生活様式は著しく向上し、今や「金」が無くても一日も暮らせない時代になりました。



倉俣小学校長 八木三男治さん

### 父親の代わりごと

出稼ぎの父を待ちわびる子どもの気持ち、正月父と過ごす子どもの喜びと安心感、これは、出稼ぎの父をもつ子の共通の心である。学校では、おおぜいの友達に囲まれ、一緒に勉強し遊んでいる。他の子どもと

### 昭和四十四年ピーク

十日町公共職業安定所の資料によりますと、出稼ぎのピークは昭和四十四年度で千六百一人を数えました。安定所を通して出稼ぎをする人は、六カ月以上の長期間にわたる人がほとんどです。二カ月から五カ月という短期間の人を含めると

倍以上の出稼ぎがあったものと推測されます。

出稼ぎ数は、昭和四十四年以降減少し、昭和六十二年では、七百五十四人とピーク時よりも半数以上減少しています。

昭和三十四年の出稼者六百四十人の年齢構成を見ますと、三十歳までの青年が全体の八四％を占めていました。しかし、昭和六十二年を見ますと、三十歳前の青年は、全体の八％と十分の一に減少しています。年齢構成の推移を見ますと、昭和三十四年当時、三十歳前の青年が、今も出稼ぎをしていることが分かります。若い出稼者の減った要因としては、昭和三十四年当時比で二十歳以下三十歳の若者が半減していることと、若者の農業離れが進み会社勤めをする青年が多くなっていることなどが上げられます。第一種兼業農家の多くは、五十代、六十代の人たちが日雇いにながら耕作しているのが実状です。この人たちの多くが、冬の仕事を求めて出稼ぎに出ています。こうした現実の中で出稼者の高齢化が著実に進んでいます。

### 高齢化する出稼者

#### 出稼者



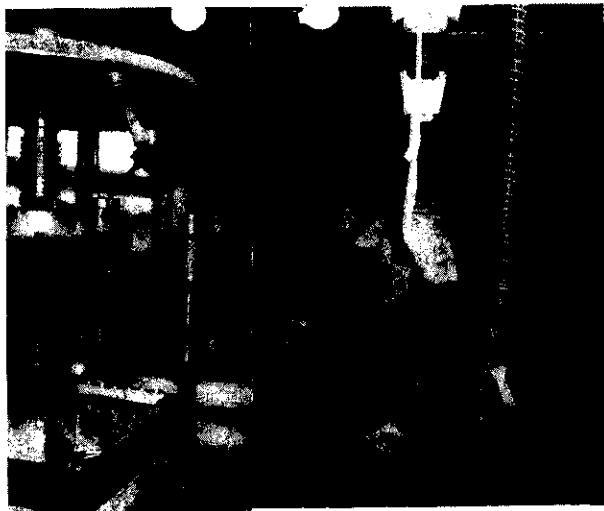
山田今朝雄さん (土倉)

「出稼ぎは、昔は若い人ばかりで、今は高齢者が多くなっています。出稼ぎは、昔は若い人ばかりで、今は高齢者が多くなっています。出稼ぎは、昔は若い人ばかりで、今は高齢者が多くなっています。」



大島清作さん (倉俣)

「子どもの喜びを共に」 結婚当時は、みんなが出稼ぎに出ていましたので、当り前と思っていました。しかし、子どもが大きくなると



自動車部品工場に出稼ぎ解消

院一人、業務外の死亡一人、病気による入院三人、となつていきます。高齢化が進むにつれて、業務外の病気などにかかる人が多くなつていきます。

### 陰↓陽

#### 明るいイメージに

上越新幹線、関越自動車道の開通、電気通信網の発達で出稼ぎのイメージも随分明るいものになってきました。昭和四十年代までは大きなバッグを背中に背負い、飯山線を利用して一日がかりで関東方面へ出稼ぎに行きました。現在では、首都圏へ日帰りの時代を迎え

アンケートの結果でも、約四割の出稼者が、月一回位帰省しています。また、新潟県は、出稼者の安全就労を確保するため、グループ就労を進めています。こうしたことから、出稼者の多くが、グループで毎半同じ事業所に行くケースがほとんどです。

### 変らない

#### さみしさと不安

いくら交通、通信網が発達したといっても、留守を

守る家族のさみしさと不安は変わりません。ひと冬に七回、十数回も雪ほりを余儀なくされる当村では、留守家族の一番の心配は雪です。今回のアンケートでは、回答者の六割が五十、六十代の人たちでした。そのため「子どもの家庭教育」に対する不安は、少なくなつていますが、反面高齢化を反映して「急病や年よりの看病」が、雪の次に多くなつていきます。

### 会社に喜ばれる妻有の出稼者

辛抱強いといわれている新潟県人。「県内の出稼者は、与えられた仕事に対して責任をもってやってくれているので、求人他県に比べて多いんですよ」と十日町公共職業安定所の小川指導官。

根気強くまじめな働きぶりは、会社からも高く評価され、一つの事業所にグループで毎年のように行っているケースがほとんどです。今回のアンケートで「いつごろまで出稼ぎをするのか」という質問に対し「働

## 出稼ぎの問題は全村的課題

昭和六十年の国勢調査によりますと、十五歳～三十九歳までの就業者は、八百五十二人います。その内、百八人が農業に携わっているだけで、実に青年の八七％が恒常的勤務に携わっています。

出稼ぎに出る青年の多くは、専業農家と第一種兼業農家です。この人たちの農業基盤を整備し近代農業に構造転換しなければ、出

稼ぎはなくなりません。昭和六十年農業センサスによりますと、村内の水田面積は、七百九十一畝となつています。水稲で生計を立てるためには五分必要といわれています。村内の水田面積を五で割りますと、百五十八となります。畑の二百畝を合せても、将来、村内で農業を営める世帯は二百戸位ということになります。

### ある日の瞑想

ホイラーの音がやけにうるさい。俺の「単身赴任」もそろそろ考えどきかな。家族がバラバラになる出稼ぎはよくない。しかし、経済的に占めるウエートは高い。冬場の農業をやってみたいのだが、雪のハンディーは大きい。逆この雪を商品化して販売できないだろうか。

現在の出稼ぎは、昔の暗いイメージはまったくくない。ただ、屋根の除雪だけは気がかりだ。大雪になれば意地も我慢ないだろう。「離れてきてお前の雪と知りながら助人行けぬ連休の口惜しさ」こんな歌を詠んだ年もある。



南雲光俊さん (堀之内) 東京・日本女子大学

### 安心して働けます

朝起きると天気予報を見ては、仲間同士で雪の心配をしています。わたしたちの仕事は、工場の中で亜鉛の製造をやっています。会社では、わたしたち出稼者にとってもよくしてくれます。どんなに忙しくても雪ほりに帰らせてくれます。安全就労の管理が徹底していますので安心して働けます。

出稼ぎ先が群馬県安中市ですから、仕事を終えてからでも家に帰ることできます。5年も同じ会社に行っていると、他の従業員とも親しくなり、お互いの地域の自慢話を話しては、楽しく交流をしています。



富井正さん (市之越) 群馬県・岡田工業

### 出稼ぎに思う

出稼ぎを始めてから20数年になりますが、その内22年間も同じ会社に勤めています。このため、今では家族もあまり心配しなくなりました。また、最近では月に一度は帰省しています。出稼ぎはやめたいと思っていますが、村内では冬の仕事があまりないので、どうしても出稼ぎこ出るのが現状です。

現在、「リゾート構想が進められていますが、一日も早く実現させ、出稼ぎのない住みよい村にしたいものです。

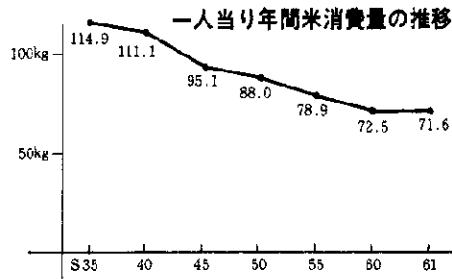


広田博さん (小原) 静岡県・東芝EMI



何とか換金化につなげたい

# 換金化をめざして 水田農業確立対策



昭和四十四年度から始まった米の生産調整政策は、米の消費量の低下、米の豊作などで依然として厳しい状況が続いています。今年度から六年間「水田農業確立対策」が実施されています。来年度は、この対策に加え「米需給均衡化緊急対策」が実施されます。典型的な米単作地帯の当村にとっては、実に深刻な問題ですがみんなの英知を結集し対応しましょう。

## 米の消費拡大へ 米需給均衡化緊急対策

米年度は、水田農業確立対策に加えて米需給均衡化緊急対策が実施されます。昭和六十三年十月末の政府在庫米は、二百三十万トンと推測されています。この量は政府持越在庫の上限百五十万トンを八十万トン上回ります。政府では、この内の

水田面積の  
一八・五％が転作  
来年度の水田農業確立対策分の転作等目標面積は、百四十七・二％となっています。米需給均衡化緊急対策分の十五・三％を合せますと、百六十二・五％となります。全水田面積が八百七十六万ヘクタール、実に一八・五％が転作田ということになります。転作面積は、清津川右岸段丘地開発

米の消費拡大へ  
米需給均衡化緊急対策  
三十万トンの需給ギャップ縮小を図るために米需給均衡化緊急対策を実施いたします。当村には、七万八千六百六十ヘクタールが転作田です。この配分は、学校給食や地域ぐるみの米消費拡大運動に取り組み実績が上った場合は、その数量により当年度の限度数量に勘案されます。

## 三億円の減収に 事業で開田した百八十万ヘクタールに

百六十二・五％が有効に生かされていないとしたら、十％当り八億とれたと計算しますと、約三億円の農業収入をフイにすることになります。米の生産調整は今後も続きます。米の消費が低下している現在、転作田を有効に利用する方法を考えなければ、農家にとって大きな損失を招いてしまいます。転作助成金も年々削減されています。中央では「助成金をヤメロー」といった意見まで出ています。米の生産調整は、生産者自身の問題だという方向が強く打ち出されています。いま、転作田を有効に利用する方法を、地域ぐるみで真剣に考えなければ将来後悔することになるのではないのでしょうか。

まず話し合いを  
「転作田をまとめて換金作物を導入しよう」理論では分かっていても実現はとて困難です。転作田を管理する中核農家がない。

この大切な日を、くたくたになるまで日曜農業に従事する時代ではないのではなないでしょうか。こうして考えてみますと会社勤めをしている人の農業は、健康維持、趣味程度の範囲で考えていく必要がありそうです。そうしますと、必然的に農地の流動化とともに作業の受委託が進むことになりそうです。こうした中で農業を志す人たちは、近代農業を目指すことができません。

## 基礎整備に 二理解を

現在、国営苗場山麓総合農地開発事業で、原町地域

お互いの利害関係がからむなど問題がでてきます。しかし、他の市町村では、転作田を一農家に任せ、転作をしながら済んだ農家が互助金として、転作農家に支払うなど様々な試みが行われています。「三人寄れば文殊の知恵」というではありませんか。みんなで何回も何回も話し合い、その地域の実態に即した転作田の有効利用を考えましょう。

この大事な成功させるためには、地主のみならずの協力が不可欠です。耕作面積の比較的小さい農家では、「借金までしてほ場整備をするのは」という考えもよく分かります。しかし、米価の低下や勤めとの関係で水田を耕作できなくなったとき「あの田んぼは、借りたくもない」という状態では宝の持ちぐされではないでしょうか。

各家庭で今後の農業経営方針を真剣に話し合ってもらいたいものです。

農産加工所の利用を  
転作で作った大豆やソバを有効に生かす農産加工所が芋川にできました。この施設には、蒸気ボイラー・回転二重釜など各種の機械があり、手軽にミソやソバなどを作ることができます。この施設の申込みや利用方法は、中里農協生産課までお問い合わせください。(電話三三二五二五)

良質米の生産地というところで食管法の上にはアグラをかけた稲作では、「魚沼米」といっても無理なものはないでしょうか。

区分	基本額 ①	加算額	
		生産性向上加算 ②	地域営農加算 ③
一般作物 (豆類、飼料作物、花き、そば等)	19	20	10
永年性作物等 (林地、養魚池等)	25	20	10
特例作物 (野菜、たばこ等)	7	5	—
土地改良通年施行	9	—	—

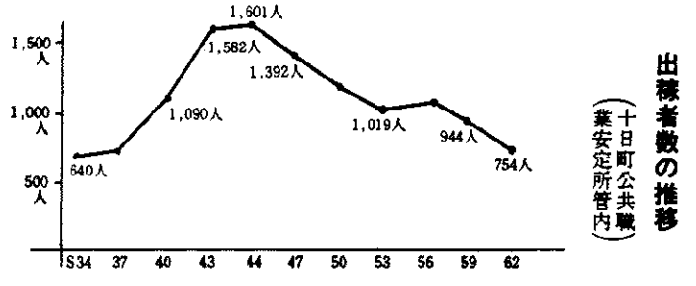
加算の内容  
 ②生産性向上加算…生産規模の拡大、生産の組織化、転作田の団地化、畑転換、畜産複合、産地形成等を誘導するもの  
 ③地域営農加算…農協等が中心となって地域の水田農業確立を計画的に推進するもの

### アンケート抜粋

回答者 80人  
回答率 80%  
(留守家族)

1. 正月を除いた帰省回数は
  - 月1回 34%
  - 春まで帰らない 34%
  - 2カ月に1回 18%
  - その他 14%
2. 出稼ぎで一番困ること
  - 雪ほり 63%
  - 急病や年よりの看病 25%
  - 子どもの家庭教育 5%
  - その他 7%
3. いつまで出稼ぎを働けるまで
  - 働けるまで 39%
  - 65歳ごろまで 31%
  - 子どもにお金がからなくなるまで 13%
  - その他 17%
4. 出稼ぎを解消するためには
  - 冬場の就労の場をつくる 64%
  - 通年就労の場をつくる 35%
  - 冬場の作物の研究 1%
5. スキー場開発をどう思いますか
  - よいことである 59%
  - 若者の定着のために絶対必要 32%
  - 自然破壊につながるので反対 4%
  - その他 5%

※出稼ぎ組合加入者のお母さん100人にアンケートを行いました。



現在、農作業機械の過剰投資による「機械化貧乏」が問題になっています。しかし、五十坪一畝を耕作している農家は、ほとんど日曜農業のためどうしても機械に頼らざるを得ない現状です。その上、作業が集中するため機械の共同利用も進んでいません。このため、会社勤めで得た給料を農業につき込んでいくというケースが多くあります。赤字を出してまでも農業をつづける理由は、「現在五十一六十代の人たちが農地開放を経験しているため土地に対する執着心が強い。」「日曜日をレジャーや趣味で過ごすことに対

「なまけもの」という先入観が年輩者の中にもまだ多く残っています。農業経営  
低経済成長時代に入り、企業は生き抜くため必死になつていきます。軽薄短少の時代といわれる現在、従業員にただ働くだけでなく知的発想が求められてきています。身近にある企業を見ても、農業が忙しいから休めるといった企業は、少なくなつていきます。日曜日は、会社勤めなどでたまつた精神的ストレスや、体に休養を与え気分をリフレッシュする日です。

この大切な日を、くたくたになるまで日曜農業に従事する時代ではないのではなないでしょうか。こうして考えてみますと会社勤めをしている人の農業は、健康維持、趣味程度の範囲で考えていく必要がありそうです。そうしますと、必然的に農地の流動化とともに作業の受委託が進むことになりそうです。こうした中で農業を志す人たちは、近代農業を目指すことができません。

農業の近代化を図り若者の定着を進めるためには、村内に通年雇用の場がどうしても必要です。当村は、首都圏と中魚、東頸城を結ぶ交通の要衝として大きな地の利があります。この地の利を生かした雇用の創出を、村民一丸となつて進めていく必要があります。

幸い当村は、県のリゾート特定地域に指定され、更に当間山麓と小松原は、重点整備地区に指定されました。また、当間山麓に進んでいるスキー場も、今年の十二月には一部オープンできる見込みです。こうした時代の流れの中で、自分たちの地域にある資源を生かした特産品づくりや飲食の場の提供などを通じて雇用の場を作ることにも可能です。また、難しいといわれる企業誘致も、雪国の水と澄んだ空気を求めている企業もあります。若者が定着できる村にするため、村・農協・商工会が一体となつて努力していきますのでよろしく願います。

# 商店街のイメージづくりを

## 推進協議会設立

買物客の村外流出割合はわずかに六年で四八％（全品目）も伸びています。品数が豊富でしかも買物を楽しめる大型店に買物客が流れています。このままでは、商店街のジリ貧はまぬがれません。こうした厳しい現状に危機感を燃やす商業経営者の有志は「国道拡幅のチャンスを生かし、村民に喜ばれる商店街づくりたい。そのためには早急に組織づくりを」と発起人となり、二月五日中里村商店街近代化推進協議会の設立総会を開きました。出席した

のは、国道拡幅にかかる人など二十六人。満場一致で推進協議会の設立が決った後、会長に、滝沢常一氏（中津屋商店）副会長に井之川平八氏（山城屋）が選ばれました。

今後この会では、近代化に向けて情報の集約を進め、研究、討議を重ねるとともに関係機関へ協力を求めるべく方針です。

**共同店舗セミナー**  
二月十五日、中里村商店街診断の二回目の事後指導会が開かれました。この日

は、主に共同店舗のやり方について、山崎中小企業診断士から説明を受けました。山崎氏は「共同店舗は、従来の意識を革新して臨まなければ必ず失敗する。消費者に満足感を与えられる店舗にするための様々な調査、研究、討議をする必要がある」と力説しました。

集まった十六人の中には共同店舗を希望している人もおり「広いフロアで各種の買物ができる共同店舗をぜひ作りたい」と真剣に耳を傾けていました。

共同店舗といっても、推進協議会に加入している三十三の商店が全部入る訳ではありません。このため、推進協議会では、共同店舗を模索するとともに、商店街の集積化、共同事業（駐車場・アーケード・街路灯など）も並行して進めていく予定で、理想の商店街を築くためには、地主の協力なくしてはできません。どうか村の発展のためにご協力をお願いします。

村でも、村中心部の整備計画を来年度策定する予定です。国道拡幅も目前に迫り、村民、商工会、村が一体となって他に誇れる中心地区をつくりあげましょう。



危機感をバネに燃える商業者のみなさん

### 全力を尽くす

商店街近代化推進協議会  
会長 滝沢常一さん



われわれ商業者は、地域の人たちに快適でしかも娯楽性のある買物空間を提供しなければならぬ。国道拡幅が目前に迫った今、「だれかがやってくれるだろう」という姿勢では、商店街の将来はない。国道拡幅を大きなチャンスとしてとらえ魅力ある商店街を作りたい。こうした気持ちを寄せて先般中里村商店街近代化推進協議会を設立しました。この席で不肖ながら会長という大役を引き受けることになりました。この上は、役員のみなさんと手を取り合い地域のみなさんのご協力をお願いし、孫子に誇れる商店街づくりに全力を傾けますのでよろしくお願いします。

# 手作りづくりはホッとする

## にぎわう農産加工所

ひと昔前までは、各集落の公民館の一階が共同作業所で二階が集会場というケースが多くありました。農作業機械の普及とともに、共同作業所がなくなり、これにつれてミソづくりの道具やワラたたきなどの機械も姿を消してしまいました。

農村の生活も都会並みになり、ミソまでも買って食べるように変わってきました。しかし、反面、地域おこしの手段にふるさと産品がクローズアップされ、手づくりのよきが見直されてきました。

こうした中で一番注目を集めたのが、転作物として作られている大豆です。この大豆を利用して家庭用のミソをつくりたい。またソバやくず米、野菜を利用して食品加工をやってみたいという声が大きくなってきました。

具やワラたたきなどの機械も姿を消してしまいました。農村の生活も都会並みになり、ミソまでも買って食べるように変わってきました。しかし、反面、地域おこしの手段にふるさと産品がクローズアップされ、手づくりのよきが見直されてきました。

こうした中で一番注目を集めたのが、転作物として作られている大豆です。この大豆を利用して家庭用のミソをつくりたい。またソバやくず米、野菜を利用して食品加工をやってみたいという声が大きくなってきました。

こうしたことから、農協と村が協力しふるさと特産品開発事業を利用し、芋川に地域特産加工施設をつくりました。この加工施設の利用については、先般村内の五会場で説明会がもたれました。この説明会の中では「会議が終ったら見に行きたい」といった積極的な意見も出されました。

正式なオープンには、四月一日からですが、この施設に早く慣れていただくため試験的に各グループが利用しています。また、リーダーを養成するためのリーダー

講習会も計画しています。

**将来は特産品販売まで**

この施設は、家でとれるものを有効に生かすとともに、特産物の製造販売までつなげたいと考えています。活発な利用を進める中でふるさとの味覚に磨きをかけてほしいものです。



圧縮釜から大豆を取り出す作業



活躍するみのり会のメンバー

### 加工所を利用して



小柳 皆子さん  
(如米寺コロッケの会)

今は物がとても豊富なため、自分で作るより買った方が見栄えもよく安いといわれています。でもテレビでハンバーグの新製品を作るのに何十種類もの食品添加物を使うと聞いてゾッとしました。新めて素性の知れたもので手作りの食事をしたいと思いました。

大豆は畑の肉といわれていますが、転作で作っても面倒で無駄にしています。今度、村と農協から立派な加工所を作っていただきましたので、わたしたちのグループも早速みそ、トウフ、ウドンなどを試作しました。蒸気を使いますので何でも早くできてびっくりしたり、同じ機械を続けて使うようにしたら後片づけも楽だと思えます。大いに利用したいのですが、冬場の足の確保と常勤の人がいれば利用しやすいと思いました。

## 村づくり パワーアップ

## イベントで心を一つに



▼心をつなげるイベント実行へ

「このままではダメだ！何かをやらねば」こんな村づくりへの気持ちを寄せ合せて「パワーアップ会議」が、昨年十二月スタートしました。

三月一日、第三回目の会議が多目的研修センターで開かれました。今回のテーマは、先回と同じく「村活性化とイベント」。

「村の活性化のためには燃える仲間を一人でも多くすること」「イベントを通じ村民の心を一つに」「とにかく馬鹿になれる仲間をつくらう」など意欲的な意見が多く飛び出し「イベント集団」結成へと話しは進みました。

次回は、ユニークでホットなイベントを企画するために「イベント集団」を結成します。この集団は「村づくりをやる」といった悲壮感や気負いを捨て、仲間同士が楽しくイベントに取り組む組織にしたいと考えています。

「面白いことやってみよう」と考えているみなさんぜひ参加してください。一つのイベントを成功させるためには多くの人たちの手が必要です。大変がついては少しも前に進みません。みんなが持っている小さな力を合せて、大きなパワーにしましょう。

三月下旬、パワーアップであなたの顔が見たい。



▲集って話す、村づくりへの第一歩

## カいっばい 走ったよ



走って耐えて強い精神力を

クロス  
カン  
トリー

二月十八日、田沢小学校グラウンドで、第八回村内小学校親善スキー大会が開かれました。

大会には各校の五、六年生百八十四人が参加し、日ごろの練習の成果を競い合いました。

この日は前日まで降り続いた大雪もうそのように晴れ上り、コースコンディションは最高。見に来ていた父兄の人たちも、元氣いっぱいスタートする児童に声援を送っていました。

結果は倉俣小学校が圧倒的な強さで、男女共に上位を独占しました。

この中から中学校でも活躍する選手が出ることを期待したいと思います。

- 【成績】
- ★五年生女子二、一位 鈴木孝子(倉俣小)
  - 二位 山田信代(倉俣小)
  - 三位 樋口美紀子(田沢小)
  - ★六年生女子二、一位 竹藤さゆり(倉俣小)
  - 二位 鈴木朝子(倉俣小)
  - 三位 鈴木洋子(倉俣小)
  - ★五年生男子三、一位 鈴木隆司(倉俣小)
  - 二位 南雲勝巳(倉俣小)
  - 三位 鈴木孝作(倉俣小)
  - ★六年生男子三、一位 島田康則(倉俣小)
  - 二位 重田和弘(倉俣小)
  - 三位 桑原賢吾(倉俣小)
  - ★リレー(女子) 一位 倉俣小
  - 二位 田沢小
  - 三位 清津峡小
  - ★リレー(男子) 一位 倉俣小
  - 二位 清津峡小
  - 三位 田沢小



富井直美さん (市之越・22才)

高校を卒業して2年間、東京の府中市のスーパーで働いていました。現在は市之越の小松屋装飾で事務をしています。趣味はこれといったものがないので何か始めなくてはと思っています。性格は細かなことにこだわらなくて、わりと大きざっぱです。夢はありきたりのことではなくて、何か人と違った仕事をやってみたいということです。理想の男性は口やかましくない人。村への要望は、人目を気にせず何でもやれるような村になってほしいということです。

### 2人以上子どもがいる人へ 児童手当

昭和63年4月より2人目以降の子どもが、就学前であれば児童手当の対象になります。(ただし、昭和57年4月2日以後に生まれた児童が対象になります) 役場では、63年度の支給対象者に通知を出しましたが、その後の異動等で対象になる人がいましたら、住民課までご連絡ください。(☎63-3111⑩122)

### 黄桜の丘、桜まつりで短歌を募集

中里村観光協会では、5月5日(休)に黄桜の丘、桜まつりを計画いたしました。その中に短歌の発表会を予定していますので、振って応募ください。  
★課題 黄桜の丘、信濃川の流れ、名勝鷹ノ巣、黄桜  
★締切日 3月30日(休) 厳守  
★用紙 官製ハガキに1人3首以内  
住所、雅号及び氏名を明記  
★宛先 中里村観光協会(役場開発課内)

### ノイローゼなどは 早めに相談を

複雑にからみ合う社会、人間関係の難しさ。こんな生活に疲れ軽いノイローゼや不眠状態になる人が増えています。一人で悩んで自分の中に閉じこもってしまうと症状が進んでしまいます。一人で思い悩んでいないで思い切って、専門医のアドバイスを受けることが一番大切です。村では、下記により精神衛生相談を

行いますのでお気軽においでください。  
★相談日 3月22日(火) 午後2時  
★会場 老人福祉センター  
★相談ご希望の方は、3月14日まで保健課に申し出てください。

### 「人気No.1の秘密」 ～商工会青年部講演会～

★日時 3月12日(出) 午後1時30分～  
★場所 商工会館2階  
★講師 森 行成氏(野沢温泉、さかや旅館若主人)  
★演題 「人気No.1の秘密」  
どなたでもお気軽に参加ください。

### 集まれ！ 春のチビッコ交通広場

田沢ツーリングクラブ(代表浦井誠一氏)では、春の全国交通安全運動に合わせて、楽しみながら交通ルールを覚えていただく「春のチビッコ交通広場」を開催いたします。  
★日時 4月10日(日) 午後1時30分～4時  
★場所 中里村総合センター2階  
★対象者 村内の小学生及び園児(なお園児の参加は父兄同伴をお願いします)  
★内容 ○雪つばき号による交通安全教室  
○交通安全16mm映画上映  
○交通安全ウルトラクイズ  
○交通安全パレード(交通関係者による)etc  
★詳細については、3月中旬ごろ新聞折込みを入れる予定です。  
主催 田沢ツーリングクラブ  
後援 中里村 中里村交通安全協会 中里村教育委員会

### 育英資金貸与希望者へ

申込方法  
1.「中里村育英資金貸与願」に記入、押印し、2部提出してください。用紙は教育委員会にあります。  
2.添付書類として、下記書類をお願いします。  
①身分証明書 1通  
②健康診断書 1通  
③成績証明書 1通  
④大学在学者は、在学証明書 1通  
3.提出期日 4月9日まで  
4.提出先 中里村教育委員会

### 固定資産課税台帳の 縦覧のお知らせ

昭和63年度の固定資産課税台帳の縦覧を下記の通り行います。  
★期間 4月8日から4月27日まで  
(平日) 午前8時30分～午後5時まで  
(土曜日) 午前8時30分～正午まで  
縦覧期間中の閲覧料は無料です。

### 農業用軽油、免税証の交付

農業用軽油にかかる免税証の交付を、次の通り行います。該当される人は、忘れずに交付を受けてください。  
なお、当日交付を受けなかった場合、交付を受けることができなくなることがあります。  
★交付日 3月23日(休)  
★交付場所 十日町財務事務所会議室  
★交付時間 午前9時～12時

午後1時～4時  
★必要書類  
(1)印鑑(共同使用の場合は全員の印鑑)  
(2)免税軽油使用者証  
(3)耕作面積証明書(農業委員会で証明を受けてください)  
(4)上記のほか、新規および機械の変更がある場合は、使用機械の証明書(所有証明、借用証明)または、納品等の写し(機械の製作所名、名称、形式、馬力、燃料消費量等の記入をする必要がありますので、カタログを持参してください。)  
★その他  
申込み用紙は、十日町財務事務所にあります。不明の点は十日町財務事務所へお問い合わせください。  
☎(57)5511(内線)205

### 国有林のことは 六日町営林署倉俣担当区へ

3月1日付で、六日町営林署田沢担当区は、倉俣担当区へ吸収合併されました。国有林の関係については、倉俣担当区(郵便局横)までご連絡ください。

### スパイクタイヤを 早めに交換して

県では、スパイクタイヤの使用に伴う道路の損耗や生活環境に対する影響が心配されることなどから「スパイクタイヤ不使用に関する実施要綱」を制定し、その趣旨の周知徹底に努めています。スパイクタイヤの必要がなくなりましたら、早めに普通タイヤに交換

していただきますようお願いします。

### NHK学園高校生徒募集

NHK学園高等学校では、63年度の生徒を募集しています。NHK学園高校は、テレビ、ラジオを利用して学習する広域通信制高校で4年間で、高校卒業の資格が得られる「高校普通科コース」、特定の科目だけを選んで単位を取る「選科生コース」、希望する科目を自由に学習する「教養コース」などがあります。また、書道や俳句、油絵など、一般社会人を対象とした「生涯学習講座」もあります。受講案内(無料)はハガキで、〒951新潟市川岸町1-49 NHK新潟放送局へ。(ア切 4月15日)

### 交通事故のご相談は お気軽にどうぞ

新潟自動車保険請求相談センターでは、交通事故の相談に無料で応じています。専門の相談員が親身になってご相談に応じます。詳しくは下記センターまで。  
新潟市本町通7番町1082興亜火災新潟支店ビル5階 新潟調査事務所内 新潟自動車保険請求相談センター ☎025-225-1851

### 善意をありがとう

★香典返し 芋川 鈴木直次氏 20,000円  
★さくらメール寄贈 越後田沢郵便局長 恩田功一氏 100枚

### お知らせ

★田沢地区婦人会総会  
日時 三月二十七日(日)  
場所 総合センター  
内容 総会(九時～)  
講演会(十時～二十分)

★高齢者講座  
日時 三月十六日(休)  
場所 老人福祉センター  
内容 午前 総会  
午後 年間行事反省会

参加して何かを 伝言板 公民館から  
講師 高木成子先生 (上村病院産婦人科 医長)  
演題 「婦人の健康について」

★村民スキーツアー  
日時 三月二十日(日)  
場所 総合センター  
内容 午前七時五十分 総会  
午後 当間山麓 会費 大人 千円 子供 五百円  
申込先 中里村公民館  
申込切 三月十五日(月) ※小学校一年生以上

### お知らせ

二月十九日、中里中学校を会場に十日町市、中魚沼郡中学校新人スキー大会が行われました。中里中学校は、男子リレーで優勝するなど大健闘をしました。  
成績  
★一年男子(五キロ)七十一人  
一五位 吉樂大吾(二年)  
一八位 山田和志(〃)  
四一位 山田道男(〃)  
★男子(十キロ)五十四人  
二位 齊喜直(一年)  
三位 富井貴浩(二年)  
八位 山田隆(二年)  
一一位 鈴木水城(一年)  
二八位 服部友也(二年)  
★二年男子(五キロ)六十七人  
六位 服部公彦(二年)  
三二位 南雲博文(〃)  
三七位 大島栄治(〃)  
★女子(五キロ)二十一人  
一位 樋口あけみ(二年)  
★一年女子(三キロ)二十七人  
二位 鈴木直美(一年)  
三位 齊喜裕貴(〃)  
★二年女子(三キロ)二十七人  
二位 山田祐子(二年)  
一一位 桑原智子(〃)  
★男子リレー 十八チーム  
一位 中里Aチーム  
服部公彦 山田隆  
富井貴浩 齊喜直  
★女子リレー 十四チーム  
六位 中里中チーム  
樋口あけみ 山田祐子 齊喜裕貴

### 関東大会で銀賞 中里中アンサンブル

1月31日埼玉県戸田市で開かれた、第11回アンサンブルコンテスト(朝日新聞社・全日本吹奏楽連盟関東支部主催)に出場した中里中学校の金管5重奏は、中学校の部で見事銀賞を受賞しました。出場した5人の生徒は、いずれも3年生で受験との板ばさみの中で精一杯練習をし大会にのぞきました。銀賞を受賞した部員たちは「レベルの高い中で銀賞をいただけてとてもうれしい。とてもよい思い出になりました」と話しています。部活動の中で培った精神力と友情をこれからの人生に生かしてほしいと思います。

### 大健闘 中里中スキー部

# 街角の話題

## わが家の主役

35

愛ちゃん 父・桑原 拓也 (田代) 母・美恵子

愛ちゃんね、毎日おばあちゃんとお留守番しているんだ。雪かきだって手伝うんだよ。愛ちゃん用のちっちゃいシャベルがあるの。ほんとは雪かきというより雪だるまを作ったりして遊んでいるだけけどね。お母さんは健康で元気に育ててほしいんだって。



## 児童画廊



35 田沢小学校(2年) 広田 直也くん

体育の時間に馬ごびせしているよ。目を放つてしました。おかしかったのは馬になって一人の馬を乗らなう。飛ばして乗る人の動きがうまく使えなうと思ひます。



マイラブに

♥ 井之川 敏幸 さん (如来寺) 35 亨子

**きつかけは……**♥本田技研に勤めていたとき、彼女の会社と合同コンパを開いたとき知り合いました。♥2人が一番はしゃいだんですよ。  
**第一印象は……**♥パンチパーマに黒のWのスーツ。何者かと思いました。♥とにかくスゲーにぎやかな人だなーと思いました。  
**結婚生活は……**♥2人で喫茶店を十日町でやっています。共稼ぎですから家事は分担でやっています。♥子どもはまだ作らず、2人の生活をエンジョイしています。  
**中里村に嫁いで……**♥方言が分からず困ったことと、他人の事に興味を持ちすぎますね。子どもがいないという「朝鮮人参」まで心配してくれるんですよ。それに若い女の子がオシャレに気を使わないのには驚きましたね。  
**村への要望……**♥スキー場開発を進めています。ハイセンスなスキー場を作ってほしいですね。

## 気になるお母さんのため

### 合同研修会



聴き流したくない耳の痛い話

「食べ残った物は全部お母さんの胃袋の中に入るんですね。こちらに来た当時気づいたことは、太めのお母さんが多いこと、厚着をしていく人が多いことですね」と話すのは、津南町で古藤医院进行している古藤先生です。これは、二月二十六日、母子愛育会、婦人会、農協婦人部合同研修会の記念講演の一場面です。  
 先生は、「一つの料理を家族の二倍くらい作っては、食べ残し、捨てるのがもったいないといつてはお母さんが食べている。肥満は成人病を招く敵と考えてほしい。健康には、体の健康、心の健康、社会環境の健全の三つがある。特に心の健康を保つために趣味をもって

ほしい。年をとってからもできる趣味は、ポケケの予防になる」と約百人のお母さんたちを前にユーモアたっぷり話してくれた。参加したお母さんたちは、「そういう」とうなずきながら熱心に聴いていました。  
**カメラマンも板につく**  
**ビデオ講習会**

二十一日の月曜日は、中里再発見と題し、外に出て雪景色や雪の中で働く人々を撮影しました。ビデオ講習会に参加しているAさんは「タイトルを入れたり、ナレーションを入れたり、ビデオの楽しさが分かりかけてきました」と話しています。  
 最終回の十一月には、各グループが作品を発表し合う予定です。



「習うは一生の得さ」

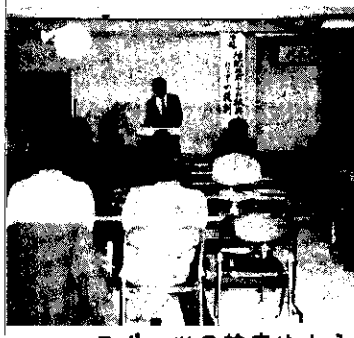
## サークル紹介



連絡員 池田 芳枝 さん

「どこに出ても歌の一つも唄えないのではさみしい」こんなことから、昭和62年1月如来寺カラオケ愛好会ができました。メンバーは主婦16人で、毎月第3土曜日公民館で練習をしています。先生には歌の上手な芹原の石沢満さんをお願いしています。初めは、歌謡カードを持つ手がふるえましたが、今ではカラオケにも合い楽しく歌っています。新年会では、自分の得意な歌を披露し合いとてもにぎやかでした。カラオケの日は、家族も気持ちよく出てくれ歌ったり笑ったりして気分転換を図っています。これからも「和」をもって長く続けていきたいと思ひます。

連絡先 池田芳枝 (63-3355)



スポーツの輪広めよう

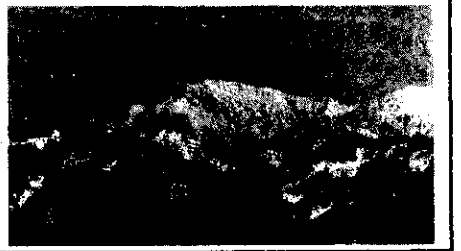
**二十世紀はスポーツの時代**  
 三月一日、総合センターで中里村スポーツリーグ研修会が開かれ、日ごろから熱心にスポーツに取り組んでいられる人たちが三十人が集まりました。  
 この日は「地域スポーツの振興とリーダーの役割」と題し、県保健体育課社会教育主事の磯部正明氏が講演され、「スポーツの目的をしっかりと定めること」、「お金をかけずとも自然を利用してほしい」等これからのスポーツのあり方について話してくれました。



## 「越後三山」

越後三山とは、南・北魚沼郡の郡界にV字形に連なる野ヶ岳、中ノ岳、八通山の総称です。山に興味がない人も八通山を知らない人はいないと思ひますが……。  
 私の生まれた川西町の地形は河岸段丘なので、この三山が天気の良い日でもよく見えます。そして、小学校校歌にも八通の峰として歌われ、このころから何となく親しみを覚えながら眺めていた山々、中里村の住人となつてからは、いつも見えていたこの山々を眺めることができなくなつたのが、とても残念です。

清津山の会 吉 榮 洋子



## 交通事故の

### 情報

・飲酒運転検挙者数 1人  
 ・無免許運転違反 0人  
 ・事故発生件数 0件  
 ・死亡事故ゼロ (2月末)

保育園児に目を閉じてもらい「お父さんかお酒を飲んで車を運転する人・手を上げて」驚くべき数です。子どもは親の後姿を見て育つといひます。いくら子どもに説教しても親が社会ルールを守らないのではききめがあるのでしょうか……。

## 人生 往来

●あめでだ ●おむすび ●おむすび ●おむすび  
 保明(村山重保)田代(内山正彦)山崎有香(鈴木幸徳)重原新郎(村山重二)田代  
 ●おむすび ●おむすび ●おむすび  
 市川 茂作 78 年 川  
 清水 サト 79 東田尻  
 前田 勝治 74 年 川

## 振替納税に伴い 納税報償金廃止

村では、四月一日から振替納税制度を行います。そのため、みなさんに口座振替の指定などをお願いしてきました。この制度の実施で今まで納税組合に支出していた「納税報償金」が廃止されますのでご了承ください。

納税の通知は、毎月十五日に直接各家庭に郵送します。今までのような領収証は発行されませんので、各自の預金通帳でご確認をお願いします。  
 不明な点は、役場税務課まで(六三二二二二)①三三二